



とくていひ えいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人

じりつしえん
自立支援センター

おおいた

こま じりつしえんほうあん だいこうどう
「困るよ！自立支援法案」大行動

だいごう
第8号

はつごうねんがつび ねん がつ にち きん
 発行年月日: 2005年8月12日(金)

はつごう もと とくていひ えいりかつどうほうじん
 発行元: 特定非営利活動法人

じりつしえん
 自立支援センターおおいた

へんしゅうたんどうしゃ いがらし
 編集担当者: 五十嵐 えり

へいせい 17年 7月 17日(日)に、コンパルホール 多目的ホール(大分市)において、自立支援センターおおいた・きょうされん大分支部・在宅障害者支援ネットワークを事務局におき、呼びかけ人17名により「困るよ！自立支援法案」をスローガンに、7月15日に衆議院で可決された「障害者自立支援法案」に対する抗議集会を開催しました。

集会当日は、梅雨明けの晴天ということもあり暑い一日となりましたが、短期間での呼びかけにもかかわらず、障がい当事者とその関係者、約400名にもものぼる賛同者の方々が参加して下さいました。

この法案では、障がい者の自己決定が軽視されており、さらに「応益負担」(定率負担)制度の導入と公費負担医療制度(育成医療、更正医療、精神通院費)の見直しにより、働きたくても働けない障がい者と家族に過大な負担を強いられるという大きな問題点があることから、「負担が多すぎて生活ができなくなる」「私たちの自立の夢が消えてしまう」などといった声が今回の集会でも多く訴えられ、改めて、この法案が障がい当事者の意見を聞き入れず、強行に可決され、問題の多い制度であることを再確認しました。

その後のデモ行進では、日差しの強い中、ほとんどの方々が行進に参加され、大分市内のギャラリー竹町をスタートし、パルコ前までの道のりを「私たち抜きに私たちのことを決めるな!」と訴え続けました。

おわりに、この「障害者自立支援法案」とは名ばかりの法案であり、実質的には支援するのではなく、障害当事者の生活を脅かし苦しめる法案であることを念頭におき、これからも強い抗議の意志を示していこうと考えております。



きじたんどう わかすぎたつや
 記事担当: 若杉電也

《障害者自立支援法案に関する全国及び当団体の活動経過》

昨年、10月12日の第18回社会保障審議会障害者部会に於いて厚生労働省より「今後の障害保健福祉施策としてグランドデザイン案が示され、今年、2月10日には国会に「障害者自立支援法」が提出されました。

しかし、この法案は、グランドデザイン案が示されてから4ヶ月余りという異例の速さで提出され、また、奈りにも拙速な審議と多くの問題を抱えるこの法案に対して、私達はこれまでに様々な取り組みを多方面に対して粘り強く行ってきました。

今年の2月15日16日、5月12日13日、7月5日6日には、東京で国会や厚生労働省周辺でデモ行進や集会が行われ、2月には、全国から1500人も障害当事者やその支援者が集まり、また、5月には約9000人、7月にはこれまでの障害者運動の歴史の中で最高の11000人も人達が集結し、障害者自立支援法に対しての要望・請願を行いました。その他、衆議院厚生労働委員会での審議の際には、たくさんの障害者のみなさんが傍聴に駆けつけ、また参考人質疑では、障害者団体の代表の方々が、この法案の問題点について答弁を行いました。

また、これら東京での活動と並行して、大分での取り組みとしては、4月7日に大分県からも厚生労働省に、慎重な審議と自治体や障害者団体との十分な議論を尽くすように要望書を提出していただくよう大分県福祉保健課の阿部実福祉保健部長様やその他福祉関係部署の方々にお集まり頂き、県庁内にてお話しをさせていただきました。

また、5月18日には全国各地で30都道府県、100ヶ所で一斉に異議申し立ての行動が行われ、別府市では、障害者と支援者や学生の方々30名程とマスコミ数社が集まり、別府駅前や商店街入口で、1300枚にもものぼるピラを道行く人達に配り、障害者自立支援法に対する問題を訴えました。(詳細は三面をご覧ください)

また、4月17日には、元厚生労働副大臣の衛藤せいじ議員、6月3日には、衛藤せいじ議員、6月4日には、後藤博子議員、横光克彦議員、6月11日には、岩屋たけし議員、6月12日には、足立信也議員という大分県選出の国会議員の方々と直接お会いし、この法案に関する要望書を手渡し、障害者の切実な訴えを国会に届けて頂く為にお話しをさせていただきました。

[7.17大分の集会やデモ行進の詳細については一面をご覧ください]



7.5緊急大行動 [デモ行進]



7.5緊急大行動 [集会]



5.18全国一斉大行動



衛藤 征士郎議員と



横光 克彦議員と



足立 信也議員と



岩屋 たけし議員と



後藤 博子議員と

7月13日(水)に衆議院の厚生労働委員会で障害者自立支援法案が与党議員の賛成多数で可決され、7月15日(金)には衆議院本会議で可決されました。また、7月26日(火)に参議院の厚生労働委員会での趣旨説明が行われ、28日(木)から本格的な審議が行われましたが、8月9日(月)に郵政民営化法案が参議院本会議で否決され、即日、衆議院が解散になり、障害者自立支援法は廃案になりました。しかし、9月11日(日)の衆議院議員選挙後、改めて障害者自立支援法案が厚生労働省から提出される見込みですので、私達の取り組みもまだまだこれからが正念場です。

記事担当：河野 龍児

しょうがいしゃじりつしえんほうあん たい ぜんこくいつせいだいこうどう 障害者自立支援法案に対する全国一斉大行動

5月18日、障害者自立支援法案に対する全国一斉抗議行動として、当センターは市内の障害当事者の方やボランティアの方、約20名ほどで別府駅とその周辺の商店街でピラ配りをしました。当日は心配された雨もあがり蒸し暑い中での行動となりましたが、それぞれがプラカードを持ち約1300枚のピラを歩行者の方々に配布しました。またこの日はTVや新聞社等も取材に来ておりニュース等を通じて行動の様子が報道されました。また、当センターでは5月12、13日の東京での国会前デモ行動にもスタッフを派遣するなど今法案の改善に積極的に取り組んでいます。厚生労働省前でのデモには全国各地から延べ9000人も障害当事者やそれを支えるスタッフが集結、集会では寒風の吹く中それぞれの思いを声をあげて訴えました。その後のデモ行進では「障害当事者の意見にもっと耳を傾けて欲しい」私たちの事を私たち抜きに決めないで！という切実な願いを込めて国会前まで行進をしました。厳しい天候の中でしたが私たちの声はきっと国会に届いた事でしょう。しかし、まだまだ戦いは続きます。私たちは今後も今法案の行方を皆さんといっしょに最後までしっかりと見守りたいと思います。



別府トキ八前に集合して出発！



厚生労働省前での大集会の様子

今年もやります！泉都別府まちづくり支援事業

当センターは昨年度に引き続き別府市の泉都別府まちづくり支援事業協議会の補助を受ける事となり「バリアフリー探検調査とホームページによる情報公開」事業を行う事となりました。今年度の調査対象は新しく整備された別府駅や、その周辺の公共施設を含めおよそ10箇所程度を予定しております。また今年度の調査方法として県内の障害当事者の皆さんにも参加して頂き自立生活プログラムの一環として調査を行うという事も計画しています。皆さんに参加してもらおう事でスタッフの気付かない部分まで詳細に調査出来るという事と、実際に調査に参加することで皆さんが別府の「まちづくり」に参加しているんだという意識を持ってもらう事が目的です。調査の日程等、詳細は決まり次第、市報等でお知らせする予定です。あなたも別府の「まちづくり」に参加してみませんか？



ちょうさよていかしよ 調査予定箇所

- ・新別府駅 (B - Passage)
- ・ヤマダ電機
- ・田ノ浦ビーチ
- その他 (飲食店等)



ピア・カウンセリング集中基礎講座開催！

5月と6月に計4日間にわたってピア・カウンセリング集中基礎講座が当センターの多目的室で開かれました。講座のリーダーとしてヒューマンネットワーク熊本より山下紘史さんをお招きし、障害当事者11名ほどが参加して「ピア・カウンセリングとは？」と言った基本的な事から、これからピア・カウンセラーとして活動していく上での知識や技能、心構えや注意点などを学びました。まず始めに自己紹介と自分が他人から呼んで欲しいニックネームを自分で決めて講座中はニックネームで呼び合うというルールで講座が開始されました。緊張をほぐすためのゲームから始まり、長時間の講座の中ではひんぱんにセッションを行いながらお互いの考え方や過去の経験等を聞いたり話したりしながら、お互いを理解しあうというピア・カウンセリングの基本を体験していきましました。参加者の中にはこのような講座は初めてと言う方もいましたが講座リーダーである山下さんの雰囲気作りのおかげで皆さんあまり緊張することも無く講座は進んで行きました。初日の夕食は参加者の親睦を深めるために交流会が開かれ、楽しい食事会となりました。2日目もゲームから始まり、実際に行う上で重要なルールや、ピア・カウンセリングの必要性などを学び5月の講座は終了しました。

6月に開かれた講座では、前回と同様に自己紹介とニックネームの決定から始まり、ゲームで緊張をほぐしてから講座が始まりました。この日はNHKの取材が入っていた事もあって皆さん少し緊張気味でした。午前中は前回の講座の内容を復習・確認しながらピア・カウンセリングに対する理解を深め、午後からは夜に行う自立生活プログラムの内容について意見を出し合い、役割分担や準備する物などを決めた後この日の講座を終了しました。夕方は自立生活プログラムの実践として役割ごとに準備を進め、センターの屋上でバーベキューと花火をしました。講座の最終日はこれまでのおさらいと自分にとって必要な権利をゲーム形式にして選択をするといった事をしました。この権利の選択ゲームは皆さんに好評でかなり盛り上がりました。最後に講座に参加しての感想をそれぞれが発表した後に山下さんの方から「これからピアカウンセラーとして頑張ってください。」とのお言葉を頂いて講座を終了しました。計4日間の長時間の講座でしたが、それぞれ得るものがあった様で、有意義な講座となりました。

ピア・カウンセリングで使われる言葉の一部を紹介

ピアカウンセリング：ピアとは仲間を意味します。つまり仲間同士でカウンセリングをする事。

自立生活プログラム：自分が何をどうしたいのか、どのような生活がしたいのか等、自己決定力を養うためにプログラムの計画、決定、役割分担、準備、実行までを一つのプログラムを通して学ぶもの。

ディスチャージ：過去に受けた心の傷を癒すために、当事者同士で心の奥底に眠っている過去の記憶や感情などの開放を行う事。

セッション：テーマにそって時間を分け合い、お互いが対等な立場で話を聞き合う事。

アプリケーション：お互いのよい所を見つけてほめ合う事。





これからも自立支援センターおおいたや自立生活センターおおいたでは、
楽しい催し物をぞくぞくと行っていきますので、皆さんふるってご参加下さい。
詳細は、1ヶ月前にチラシや市報などによりお知らせ致します。

ピア・カウンセリング公開講座

日程； 8月28日(日) 13:00～16:00

グレートバリアフリー探険 —新・別府駅周辺 (第3回泉都別府まちづくり支援事業)

日程； 9月18日(日) 11:00～14:00

グレートバリアフリー探険 田ノ浦ビーチ (第3回泉都別府まちづくり支援事業) & 大学生と交流会

日程； 10月16日(日) 11:00～16:00

ピア・カウンセリング基礎講座

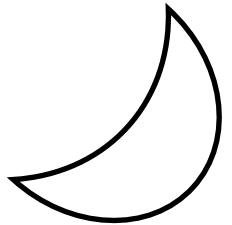
日程； 10月29日(土) 13:00～16:00

グレートバリアフリー探険 的ヶ浜公園～浜町公園 (第3回泉都別府まちづくり支援事業)

日程； 11月13日(日) 11:00～14:00

自立生活プログラム フィールドトリップ クリスマスパティー

日程； 12月18日(日) 10:00～16:00



< 編集後記 >

残暑お見舞い申し上げます m(_ _)m 毎日暑い日々が続いていますが皆さんいかがお過ごしでしょうか？
7月は様々な行事があり、たくさんの方々に参加とご協力をいただき感謝感謝であります。
7月17日に行われた、障害者自立支援法反対の大行動には約400人もの方が参加されて日差しが照りつける最中、暑さにも負けず行進をしました。私達の声が少しでも国会に届くように・・・そしてNHK教育TVでの福祉ネットワーク放送。地域で暮らす障害をもった方の現状を知ってもらえたでしょうか？ 当事務所も地域に密着した福祉を目指しています。自立支援法案が成立してしまうと地域で生活するのも困難となります。もう少し私達の声を真剣に聞いてくれたらいいのに・・・そんな思いでいっぱいです。
けど、悪い話しばかりではありません。7月30日に開催された a-nation'05 powered by weider これは楽しいイベントでした。夏の暑さに負けず劣らずストレス発散することができたでしょうか？ (> <) またこんな機会があれば皆さん是非参加してくださいね。
それでは、夏の暑さはまだまだ続きますがかき氷でも食べて皆さんぼちぼちと頑張りましょう (*^_^)

編集後記担当：酒井 洋子

主なサービスは次の通りです。

- 訪問介助サービス
- ピア・カウンセリング
- 自立生活プログラム
- 福祉各種無料相談
- 自立生活・バリアフリーセミナー
- バリアフリーコンサルタント

(ユニバーサルデザイン)

特定非営利活動法人 自立支援センターおおいた
〒874-0942
大分県別府市千代町13-14 エンパ・カモンション 2F
TEL：0977-27-5508
FAX：0977-24-4924
E-mail：333@jp114.com
URL：<http://www.jp999.com/333/>



私達は利用者主体の介助サービスを提供しています

